



HOSPITALITY

SATISFACTION

PARTNERSHIP

INNOVATION

TASK

LIFE

病院・診療所のみなさまへ

城陽江尻病院だより 2024年1月号

- 新年のご挨拶
- 下肢静脈瘤診療に力を入れています
ほか

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりありがとうございました。今年も相変わリませず宜しくお願い致します。

新型コロナが5類に変更され、昨年はお祭りが以前と同じような形で行われるなど、ようやく元の社会生活が取り戻されつつあります。小生も各学術集会に現地参加し、講演などを直接聴講するようになりました。現地に赴くことで、演者の方から論文などに書かれていない知識をもらうことができたりし、オンラインでは得られない時間を過ごすことができました。一方で、年明け早々、能登半島地震や海上保安庁と日本航空の航空機衝突事故が起こりました。そして、今年台湾の総統選挙に始まり、ロシアの大統領選挙、アメリカの大統領選挙と、日本と関わり合いの大きい国のリーダーが入れ替わる可能性があります。医療界においては、医療・介護・障害福祉のトリプル改定があります。不安なく過ごせそうな年であるとはとても言い難いです。

ところで、1月早々、大阪で腎不全の骨代謝の研究会に参加いたしました。そこで「日常診療の極意は、マニュアルやビッグデータに基づく診療ではなく、患者さんの話をしっかり聞くことに尽きる」というクロージング・リマークスがあり、印象的でした。波乱が続くような年ではありますが、こういう時こそ基本を忠実に守り、周囲に惑わされず、一歩ずつ着実に日常診療を行ってまいりたいと思います。お手伝い出来ることがありましたら、ご連絡いただければ幸いです。

この年末年始はインフルエンザが流行しています。くれぐれもお身体を大切にしてください。いただきつつ活躍されることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



特定医療法人光寿会 理事長
江尻一成

皆さん、明けましておめでとうございます。昨年は WBC における優勝に始まり、サッカー、バスケットボール、バレーボール、ラグビーと、団体競技における日本の躍進をたくさん見ることができた年でした。バスケットボール男子日本代表のヘッドコーチ、トム・ホーバスさんが「スーパースターがいなくても、厳しい練習でスーパーチームは作れる。わがままな人が少ない日本人の特徴を利用すれば、団体競技での日本の躍進は益々期待できる」と発言していましたが、まさにそれが現実となったのではないのでしょうか。また、プロ野球では阪神が 38 年ぶりに日本一となり、オリックスとの関西決戦は特に盛り上がりました。そして、今年はパリで夏季オリンピックがあります。引き続き、スポーツで盛り上がっていきたいです。

今年は辰年で、陽の気が動いて万物が振動し活力がみなぎっていく年とされています。昨年ようやく新型コロナが 5 類感染症となり、波はあるものの感染状況は落ち着いてきた感があります。このまま辰年の陽の気の力で収束してくれるのを願うばかりです。

さて、今年は医療・介護・福祉のトリプル改定があります。まだ詳細は分かりませんが、人生 100 年時代を迎え、急性期医療のあるべき姿や回復期入院対応、医療・介護・福祉サービスとの関わり合い、働き方改革を含めた処遇改善、食事療養などが焦点になりそうです。2 年前の改定に合わせて開始した訪問診療はなんとか軌道に乗りましたので、その流れに乗って今回の改定にも対応していきたいと思います。診療報酬改定への対応は大変ですが、「現状維持だけではむしろ病院は衰退していく」と心得て、頑張っていきたいところです。阪神の岡田監督は「優勝メンバーがそのままなら連覇は出来ない」と発言していました。優勝後もさらに前を向いて進み、新しい戦力を作ってこそ連覇が狙えるということです。当院もスタッフ一同力を合わせ、前向きに取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞ今年も宜しくお願い申し上げます。



城陽江尻病院 院長
小川隆義

下肢静脈瘤診療に力を入れています

当院の形成外科では、下肢静脈瘤の診療に力を入れています。皆さまのご紹介のおかげで、外科的治療だけでも年間 80 件ペースとなっており、深謝いたします。ご期待に沿えるよう引き続き努力してまいります。今回は、当院での下肢静脈瘤診療について、特色も含め、説明させていただきます。

下肢静脈瘤を疑う愁訴としては、「足の血管が浮き出ている、コブになっている」「足が重い・だるい・疲れる」「足がつる」「足の血管が痛い」「立っていると足がむくむ」などが挙げられます。視診で高度な静脈瘤を認めなくても、超音波検査をしてみると伏在静脈の逆流や拡張を認めることがあります。上記のような愁訴がある場合、遠慮なくご相談ください。

以前は治療といえばストリッピング、高位結紮、硬化療法、圧迫療法が一般的でした。しかし近年、有効かつ低侵襲な血管内レーザー治療や血管内接着材治療が開発され、国内外で広まっています。

まず血管内レーザー治療ですが、レーザーファイバーを伏在静脈の中に入れ、静脈周囲に広く麻酔の注射をしたのち、レーザーで静脈を内側から焼灼して閉鎖します（図 1）。治療成績が高く低侵襲で、ダウンタイムが短く合併症も少ない治療です。深部静脈血栓症の予防で、術後に弾性ストッキングを 2 週間ほど着用していただきます。当院では、最新機種のひとつである ELVeS レーザー 1470（インテグラル社）を導入し、保険適応の診療を行っております。日帰りもしくは 1 泊で行っています。

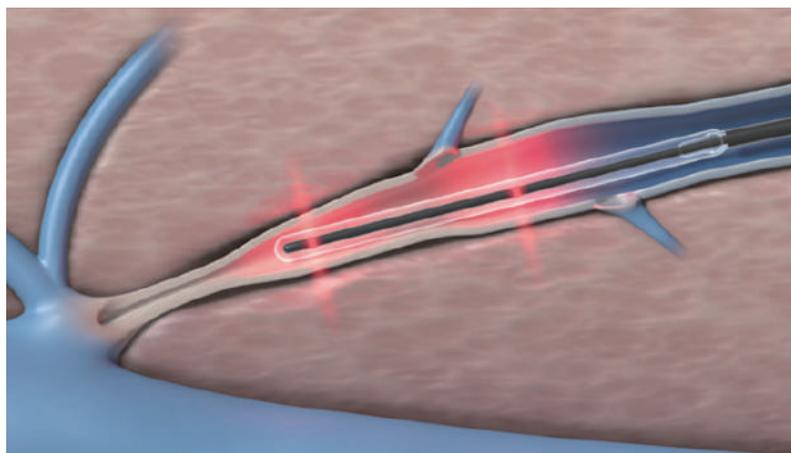


図 1：血管内レーザー治療のイメージ

血管内接着材治療ですが、カテーテルを伏在静脈の中に入れ、接着材を注入し、静脈をしばらく圧迫することで閉鎖します（図 2）。治療成績が高いうえに、静脈周囲への麻酔の注射は不要で、血管内レーザー治療よりもさらにダウンタイムが短いです。術後の弾性ストッキング着用も不要です。デメリットとしては接着材に対するアレルギーや異物反応が挙げられますが、確率は低いです。当院では、VenaSeal クロージャーシステム（メドトロニック社）を導入し、保険適用の診療を行っております。日帰りもしくは1泊で行っています。

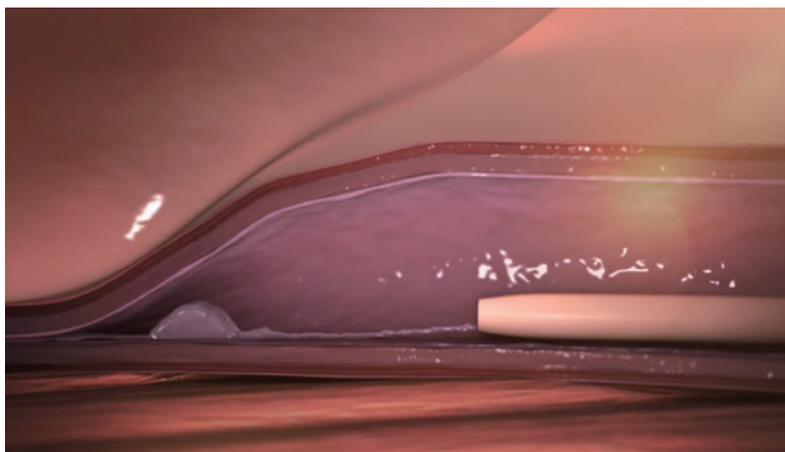


図 2：血管内接着材治療のイメージ

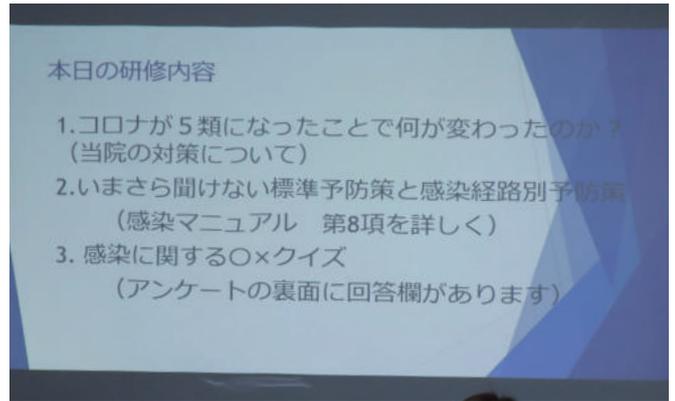
これらの治療以外にも、体操・マッサージ・生活の指導や圧迫療法、漢方の処方、硬化療法、クモの巣状静脈瘤に対する Vbeam 治療（色素レーザー、シネロン・キャンデラ社）、瘤切除（スタブアバルジョン法）、従来の手術も行うことができ、下肢静脈瘤に対する総合的な診療体制が整っていると自負しております。また、体操・マッサージ・生活の指導については分かりやすい冊子をお渡ししたり、圧迫療法についてはコツや注意点を具体的にお伝えするように心がけております。

今後も下肢静脈瘤に対する総合的な診療体制を維持・向上させつつ、親切で丁寧な対応を心がけてまいりますので、安心してご紹介くだされば幸いです。

心肺蘇生研修、感染対策研修



2023年10月13日、心肺蘇生研修を行いました。心肺停止傷病者が新型コロナウイルスなどに感染しているという前提での対応方法を学びました。また、院内コードブルーについても復習しました。



2023年11月22日、感染対策研修を行いました。「感染対策を基礎から学び直そう」をテーマに、5類になった新型コロナウイルス対策だけでなく、標準予防策、感染経路別予防策についても学びました。O×クイズもあり、楽しく学ぶことができました。

4階病棟秋祭り、永年勤続表彰



2023年10月23日、4階の療養病棟で秋祭りを行いました。患者さまと一緒にゲームを行い、大いに盛り上がりました。



毎年恒例の永年勤続表彰式を、2023年12月12日に行いました。長年のご貢献に感謝し、表彰状と記念品が渡されました。

患者さまのご予約方法

入院・転院のご依頼
外来診療のご依頼
上部・下部消化管内視鏡のご依頼

➔ 079-225-1231（地域連携課）にお電話ください。
担当医と調整の上、予約を入れさせていただきます。

CT・MRI・超音波・骨密度・マンモグラフィーのご依頼

➔ 079-225-1231（放射線課）にお電話ください。

※ 受付時間は 8:30～19:00 となっております（日曜、祝日を除く）。

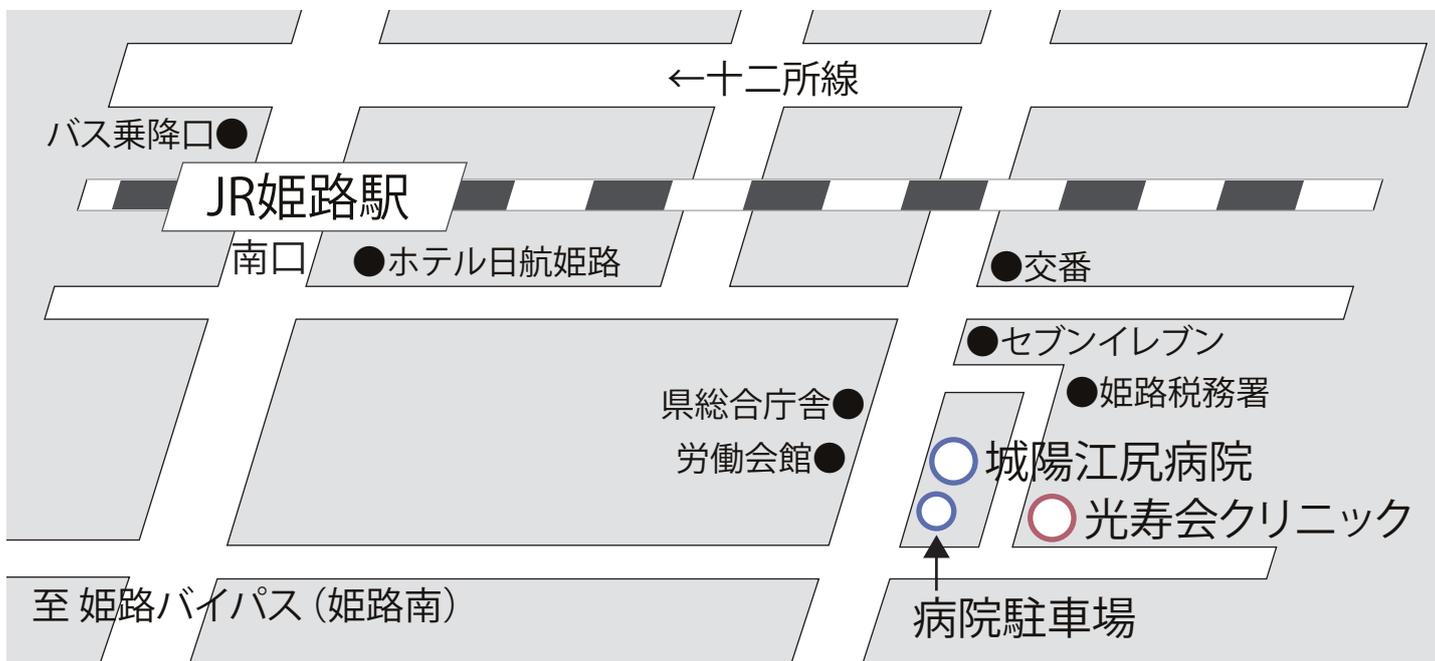
※ そのほかのお問い合わせは 079-225-1231（地域連携課）にお電話ください。

ご予約後の流れ

患者さまに、以下のものをご持参いただくようお願いください。

貴院からの診療情報提供書（紹介状）
（CT・MRI をご依頼の場合は所見用紙）
健康保険証
当院受診歴のある方は、当院の診察券
（必要に応じて）貴院での血液検査結果、投薬情報

患者さまに、来院当日は1階総合受付にお越しいただくようお願いください。
スタッフがご案内いたします。



〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目279

ホームページ：www.ejirihospital.or.jp

代表 Tel：079-225-1231

Fax：079-222-0154

地域連携課

連携担当：大久保・竹内・濱野・中尾・

飯田・小野井



EJIRI HOSPITAL
城陽江尻病院